

熱いハートを持った 2800 人の日本サポーター

シドニー事務所

オーストラリアには5つ、ニュージーランドには3つの JETAA (外国青年招致事業同窓会組織) 支部があります。オーストラリアでは約 1800 人、ニュージーランドでは約 1000 人もの方が JETAA の会員になっています (2014 年 7 月現在)。シドニー事務所では彼等の活動を支援しており、今回活動の一部をご紹介します。

1. Big Bento Lunch

これまで多くのオーストラリア人、ニュージーランド人 JET 青年たちが福島県内や宮城県内等に配属されてきました。そんな中 2011 年 3 月 11 日、東日本大震災が発生しました。

オーストラリアのビクトリア/タスマニア/南オーストラリア支部では、被災された方々を支援するため、地震発生後 1 カ月しない間に Anime in the Avro という募金イベントを企画し、AU\$5,000 (約 50 万円) を超える寄付を集めました。

このイベント終了後も各地で開かれる Japan Festival 等のイベントに参加し寄付活動を行ってきた彼等でしたが、より支援が広がるようにと Big Bento Lunch というイベントを企画します。これは簡単に言えば、東日本大震災のことを知ってもらうため、日本風の弁当等を友達や職場の仲間等と一緒に食べ、被災者支援のため寄付を集めるというものです。2012 年 3 月に初めて開催した際は、AU\$15,000 (約 150 万円) もの寄付を集めました。

彼等は、ホームページ上でも Big Bento Lunch の開き方を紹介し、Big Bento Lunch および寄付活動への協力を呼びかけるなど、現在も被災者への支援を続けています。



Big Bento Lunch で集まった寄付を記念した小切手

2. Friendship Kimono

2014 年 8 月、ニュージーランドのウェリントン支部は、高さ約 11m、横約 9m と非常に大きな着物を作り、ウェリントン市で開催された堺市・ウェリントン姉妹都市提携 20 周年記念日本祭りを盛り上げました。

着物は、22 枚の生地からできており、その内 20 枚には日本及びニュージーランドの小中高生等によってそれぞれの文化等をイメージした絵が描かれています。今回着物をモチーフにしたのは、着物が特別な行事や祭りで着られることが多く、小中高生等の絵を見せる媒体にふさわしいと考えたためです。また、それぞれの生地のつなぎ目は 2 つの地域の



会場に飾られた Kimono

絆を表現しています。

なお、彼等は 2012 年に行われた日本祭りでも、日本文化を紹介するため長さ 60 メートルの巻き寿司を作るイベントを成功させており、趣向を凝らした日本文化の発信を行っています。

3. 「会 WA」

オーストラリアの西オーストラリア支部では、日本語と英語のエクスチェンジイベント（会 WA）を 2 週間に 1 度開催しています。このイベントは JET プログラム終了後も生の日本と関係が持てるようにと始められ、英語を学びたいと思っている日本人にとってもメリットがあり、文化交流の場になっています。また、JETAA メンバーに限らず誰でも参加できるため、JET プログラムの認識度を高めるだけでなく、日本への関心も高めることができる活動でもあります。



「会 WA」の様子

4. JETAA Oceania 会議

オーストラリアとニュージーランドでは年に 1 度、8 支部の代表者と両国の国代表者が集まる会議を開き、支部間の情報共有や JETAA 活動における課題等について議論しています。

昨年 10 月に開かれた会議では、普段の活動により多くのメンバーを参加させるためのアイデア等が各支部から提案されたほか、JET プログラムを終了し帰国する方への就職支援や関係機関と連携した日本の魅力発信などについても活発な意見交換がされました。



会議の様子

5. 今後の JETAA への期待

今回 JETAA の活動を一部ご紹介しましたが、JETAA はあくまでボランティアな組織であるため、予算的な問題やそれぞれの地域ごとの課題を抱えながら、日本の魅力発信や JET プログラムの PR などの活動を積極的に行っています。シドニー事務所では草の根交流の一端を担うとも言える彼等の活動を引き続きサポートしていくとともに、彼等の活動を通じて日本に興味を持つ人の輪が広がっていくことを期待しています。

(芝所長補佐 和歌山県派遣)